

指導案	生徒の活動	講師の支援
導入	・テーマに対する興味関心をもつ ・問いやクイズに反応する ・全員が参加できるアイスブレイクで場が温まる	・講師自身の体験談や魅力で引き込む ・問いかけ(例:「働くって何？」など)で思考を促す ・クイズや簡単なゲームで緊張を解く ・資料で視覚的に惹きつける ・全員が分かる(または全員が分からない)話題で差異を抑制
展開	・ワークに取り組む(書く・考える・描く) ・自分の考えを言葉にする(話す・共有する) ・他者と比較・対話しながら新たな気づきを得る ・主体的に質問したり反応する	・2～4人組での対話やシェアの設計 ・挙手制ではなくランダムに発言促進 ・手を動かすワーク(MAP記入、カード選びなど)を盛り込む ・生徒のつぶやきや問いを拾って授業を展開させる柔軟性
まとめ	・自分の言葉でまとめる(例: JIKOTAN MAPの完成) ・今日の学びをふりかえり、自分ごと化する ・これからやってみたいことを考える	・完成したMAPを共有してもらう機会を設ける ・問いの形で終える(例:この経験をどこに活かそう?) ・次につながる問いやワクワク感を残す締めくくり